

# 「ことばの教室」ことはじめ

## 目次

<b>本書を読むにあたって</b>	<b>1</b>
<b>第1章 言語障害があるAさんへの対応</b>	<b>3</b>
1. Aさんと出会うまで	
2. Aさんとの出会い	
3. 「ことばの教室」での検討	
4. 指導の開始	
5. 在籍学級との連携	
6. 指導方針の見直し	
7. 指導の終了	
<b>第2章 「ことばの教室」に通う子どもの理解</b>	<b>11</b>
Q1 言語障害の特徴について教えてください	
Q2 ことばの教室が対象としている主な言語障害について教えてください	
Q3 ことばの教室担当者として、子どもを見るときに必要な視点、子どもを理解する上での留意点について教えてください	
Q4 ことばの教室に通級することとなる子どもに関する情報収集を行うにあたり、子どもと関わりながら得ておくべき情報には何がありますか？	
Q5 ことばの教室に通級することとなる子どもに関する情報収集を行うにあたり、保護者や在籍学級、関係機関等から得ておくべき情報には何がありますか？	
Q6 構音障害とは何か教えてください	
Q7 構音障害のある子どもの実態把握について教えてください	
Q8 吃音とは何か教えてください	
Q9 吃音のある子どもの実態把握について教えてください	
Q10 言語の基礎的事項の発達の遅れとは何か教えてください	
Q11 言語の基礎的事項の発達の遅れのある子どもの実態把握について教えてください	
Q12 ことばの教室でよく利用されている検査について教えてください	

### 第3章 「ことばの教室」における指導内容・方法

35

- Q1 ことばの教室における自立活動の指導について教えてください
- Q2 ことばの教室における各教科の補充指導について教えてください
- Q3 個別の教育支援計画や個別の指導計画について教えてください
- Q4 指導形態について教えてください
- Q5 構音指導の基本について教えてください
- Q6 吃音に関する指導の基本について教えてください
- Q7 ことばの遅れに関する指導の基本について教えてください
- Q8 指導内容を検討するときに留意すべきことについて教えてください
- Q9 子どもの自己認識や障害認識を育てるにはどのようにしたらよいか教えてください
- Q10 指導終了はどのように判断したらよいか教えてください

### 第4章 「ことばの教室」が行う連携

55

- Q1 ことばの教室の設置校との連携について教えてください
- Q2 指導している子どもの在籍学級の担任との連絡方法を教えてください
- Q3 指導をすすめていくに当たり、保護者との連携について教えてください
- Q4 障害理解啓発授業の内容について教えてください
- Q5 地域に向けた啓発活動や地域の関係機関と連携をとる糸口について教えてください
- Q6 聞こえのことが心配です。どこと連携をとったら良いか教えてください
- Q7 幼児のことばの相談がありました。どこで指導を行うのか教えてください

### 第5章 「ことばの教室」の経営

65

- Q1 ことばの教室の教育課程の編成について、教えてください
- Q2 通級による指導を受けている児童生徒の指導要録の記載について、教えてください
- Q3 ことばの教室の業務・運営にあたって必要な所掌（分掌）について、教えてください
- Q4 親の会の活動では、どのような活動をしているか教えてください。また教員は、どの程度関与しているか、教えてください

Q5 担当者の専門性を維持・確保するために研修を受けたいのですが、  
どのような研修があるか、教えてください

Q6 ことばの教室が行っている活動の全国的な状況を教えてください

## 第6章 インクルーシブ教育システム構築における「ことばの教室」の役割 73

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

大西 孝志

## 本書を読むにあたって

本書は、言語障害通級通級指導教室（「ことばの教室」と記す）を初めて担当する先生方を対象に作成しました。先生方が抱えている疑問に対して、Q&A方式で、できるだけ平易に、ポイントを絞って、回答を作成しました。本書は、本研究所の研究成果報告書等をもとにして作成していますので、より詳細な内容が知りたい場合には、引用・紹介してある文献を参照してください。本文中の略称等については、表1を参照して下さい。

「ことばの教室」で指導している子どもは、言語面だけの課題にとどまらず、様々な要因が考えられる場合もあります。そこで、第1章では、「ことばの教室」に相談があった子どもをどのように実態把握して、通級による指導の方針を立てていくのかという大きな流れを仮想事例で例示し、解説を加えています。

第2章では、「ことばの教室」に通う子どもを理解するための基本的な事項、障害の状態やその実態把握等について説明しています。

第3章では、「ことばの教室」における指導内容・方法について、障害別の指導の基本的な事項、指導に関連する事柄等について説明しています。

第4章では「ことばの教室」が行う連携として、指導している子どもの学級や地域の関係機関等との連携について説明しています。

第5章では、「ことばの教室」の経営面について説明しています。

第6章では、今後の教育の方向性と「ことばの教室」がインクルーシブ教育システム構築において果たす役割について、概説しています。

「ことばの教室」は、今後のインクルーシブ教育システム構築を進める上で、重要な役割を担っていくものと思われます。初めて担当される先生方には、子どもへの指導の専門性に加えて、様々な幅広い業務内容に戸惑うことがあるかもしれません。そのようなときに、是非、本書を参考にさせていただけたらと願っています。

表1 本書の中で使用している文献の略称一覧

略称	研究所 研究成果報告書等
ことばの遅れ	ことばの遅れを主訴とする子どもに対する早期からの指導の充実に関する研究－子どもの実態の整理と指導の効果の検討－研究成果報告書(平成24～25年度)
連携	言語障害のある子どもの通常の学級における障害特性に応じた指導・支援の内容・方法に関する研究－通常の学級と通級指導教室の連携を通して－研究成果報告書(平成22～23年度)
ガイド	言語障害教育における指導の内容・方法・評価に関する研究－言語障害教育実践ガイドブックの作成に向けて－研究成果報告書(平成20～21年度)
一貫支援	難聴・言語障害児を地域で一貫して支援するための体制に関する実地的研究(平成18～19年度)
発音教室	親子で学べる構音障害改善のためのデジタルコンテンツ開発 研究成果報告書
	Web上における「ネットで学ぶ発音教室」「親子で学べる発音教室」
全国調査	平成23年度全国難聴・言語障害学級及び通級指導教室実態調査報告書
吃音学習	吃音のある子どもの吃音及び自己に関する学習支援プログラムの構築(平成20～22年度科学研究費補助金による研究)
吃音支援	言語に障害のある子どもへの教育的支援に関する研究－吃音のある子どもの自己肯定感形成を中心に－(平成16～18年度)
基礎・基本	改訂新版 特別支援教育の基礎・基本(国立特別支援教育総合研究所編著、ジアース教育新社)
支援資料	教育支援資料(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)
手引き	改訂版 通級による指導の手引き(文部科学省 編著、第一法規)
テキスト	きこえとことば研修テキスト(全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会)

## 執筆者

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所  
言語障害教育研究班

小林 倫代

牧野 泰美

久保山茂樹

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

大西 孝志

---

「ことばの教室」ことはじめ

平成 27 年 3 月

---

発行 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所  
〒239-8585  
神奈川県横須賀市野比 5 丁目 1 番 1 号  
URL <http://www.nise.go.jp>